

科目区分：国際理解教育コース，授業科目名：日本語教育実践

担当教員：菅野 真紀子・田中 喜美代

「日本語教育実践」授業評価報告

菅野 真紀子・田中 喜美代（非常勤講師）

1. 授業の概要

(1) 目的

・外国人に日本語を教えるために身につけた知識を生かし、日本語が教えられるようになる。

(2) 到達目標

・教案・絵カード作成など日本語を教えるための準備をし、日本語教育の知識を生かし、留学生に対して短時間の日本語の授業ができるようになる。

2. 受講生数

13名

3. 学生の評価

授業終了後実施したアンケートの結果を以下に示す。

(1) 以下の授業内容のうち、特に興味を持ったものがあれば をつけてください。（複数回答可）

教授法まとめ 3人・初級前半指導 2人

初級後半指導 2人・会話指導 3人

読解指導 4人・聴解指導 1人

中上級指導 3人・教材作成 3人

学習者との交流 6人

すべてに興味を持てた 6人

(2) 以下の授業内容のうち、興味を持たなかったもの、必要ないと思ったものがあれば、 をつけてください。（複数回答可）

教科書分析 1人

(3) 「日本語教育実践」という授業を受ける前に期待していたことは何ですか。

・実践的な技術を学ぶ（8人）

・今までに習った日本語教育関連授業の集大成（3人）

・外国人学習者との交流（2人）

(4) この授業はその期待と比べてどうでしたか。

・期待通りだ／充実していた（4人）

・実習が多くて大変だった。（5人）

・実習時間が短かった（2人）

「大変だ」と答えた学生も「楽しかった」「やってみてよくわかった」など肯定的なコメントが添えられていた。

(5) 授業を受けてみて、もっと詳しく知りたいと思ったことは何ですか。

・指導の具体的な内容（6人）

・学習者の感想

・実際に教える場面を見てみたい

・授業中にはいけない事柄

・国別の間違いやすい事柄

(6) その他、意見や感想があれば書いてください。

・楽しい／面白い授業だった（7人）

・教師の大変さが分かった（2人）

・留学生の授業に対する姿勢に助けられた。

・先生と学習者の信頼関係がよく分かった。

こんな先生になりたい。

4. 自己評価

この授業は今までの日本語教育関連のまとめに位置する授業であり、後半は毎時間実習を課した。準備のための授業外活動もあり大変だったと思うが、皆、真面目に取り組んでくれ、楽しく授業ができた。授業への取り組み、異文化との触れ合いなど、ここで学んだことは今後生かされるものと期待している。